

人文社会科学部の理念・目的

◆理念と目標

*理念

岩手大学人文社会科学部は、教育研究における「総合化」と「専門深化」をともに追究する。その実現のため、人文社会諸科学と芸術文化に関する総合的教育研究を、自然科学との連携のもとに行い、地域社会および国際社会の持続的発展に貢献する。

*教育目標

人文社会科学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性、複雑化・高度化が進む現代社会に対応することができる総合的な知見・思考力・判断力、および広い国際的視野を育むための教育を行う。

カリキュラムにおいて、教養教育と専門教育との有機的な連携、および専門教育における人文社会諸科学・芸術文化と自然科学との密接な連携を図り、教育における「総合化と専門深化」の実現をめざす。

*研究目標

人文社会科学部は、グローバル化が進む現代社会の諸問題を解明・解決し、地域社会に暮らす人々の生活に貢献することを目的として、以下の視点から独創的で多面的・総合的な研究を行う。

- (1) 固有の文化を育み、それを歴史的に継承してきた地域社会と、そこに暮らす人々の行動の特徴
- (2) グローバル化が地域社会に及ぼす影響
- (3) 地域における社会システム・環境システムの特徴

*社会貢献目標

人文社会科学部は、地域社会が抱える諸課題を自らの課題として、これらに積極的に対応し、研究成果の地域還元や地域に対する社会教育・芸術活動を通じて地域社会に貢献する。さらに、教育研究活動の場を広げることによって、国際社会に貢献する。

◆教育目的

人文社会科学部は、現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会および国際社会に実践を通して貢献できる人材を養成することを目的とする。

◆修得すべき能力

人文社会科学部は、その教育プログラムを通して、学生が次のような能力を獲得することを目指している。

- (1) 分野にとらわれず、幅広く深く学ぶ能力
- (2) 人間・文化・社会・環境を、現象だけにとらわれず、それぞれの本質的視点から分析し、それらを総合し、判断する能力
- (3) 地域社会および国際社会のなかで、学び、考え、行動するために必要なコミュニケーション能力

◆課程の教育目的

人間文化課程では、固有文化を育み歴史的に継承されてきた地域社会と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の健やかな生活に貢献できる人材、および地域文化を世界に向けて発信できる人材の養成を目的とする。

地域政策課程では、震災復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材の養成を目的とする。